

国民健康保険特別会計

<p>【番号】189【施策体系】Ⅰ 保険徴収事務経費</p> <hr/> <p>事業費； 10,662 千円</p> <p>財源内訳； 一般被保険者保険税延滞金 10,662 千円</p>	<p>【事業概要】 (滞納整理の強化)</p> <p>システムを活用した分納管理業務を行うことで、履行状況等の管理が効率化され、効果的な分納管理を実現した。滞納者に対して迅速に財産調査・財産差押え・取り立てを行い、早期の滞納解消及び納税秩序の維持を行った。電話催告システムによる迅速かつ効率的な個別催告を行い、早期の納税をした。</p> <p>【事業成果】 保険年金課窓口に来た滞納者については、納税課に一報をもらい、交渉の必要な方にはその場で交渉を行うことにより、接触の取れなかった人や分納不履行者に対する新たな展開へ結びつき、当初予定していた徴収率を大幅に上回り、国保税現年分 94.1%(前年度 93.6%)、国保税滞納繰越分 45.6%(同 38.4%)となった。</p>
<p>【番号】190【施策体系】Ⅲ 健康増進事業（データヘルス計画の策定等）</p> <hr/> <p>事業費； 27,366 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 9,000 千円</p> <p>一般財源 18,366 千円</p>	<p>【事業概要】 平成 26 年度から実施している国保被保険者の医療レセプト及び特定健診受診結果の分析を拡充して行った。市民の健康寿命の延伸及び国保財政の健全化を目指し、分析結果から判明した課題を、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を推進していくことで解決するため、「日野市国民健康保険データヘルス計画」を策定した。</p> <p>【事業成果】 平成 27 年度は、生活習慣病のリスク重複や町丁目別の地区分析を追加したため、生活習慣病による健康課題等をより明確にすることができた。地区分析は、情報をGIS地図情報上に落とし込み、地図データとして「可視化」することができ、庁内で情報活用の連携を開始することができた。分析結果から確認した健康課題をまとめ、課題解決のための事業をまとめた「日野市国民健康保険データヘルス計画」を策定することができた。</p> <p>なお、特定健診未受診者への電話勧奨を平成 26 年度より開始していたが、簡単なアンケート機能も有した自動音声による電話受診勧奨へ変更した(65 歳以上の未受診者 11,414 人のうち 1,092 人に架電できた)。</p>

<p>【番号】191【施策体系】Ⅲ 健康増進事業（健康講座及び重症化予防プログラムの実施）</p>	<p>【事業概要】 新たな健康施策（健康講座・重症化予防）を実施することで、医療費の適正化、被保険者の健康増進を図った。</p>
<p>事業費；</p>	<p>国保健康講座として、</p>
<p>財源内訳； 都支出金</p>	<p>①『姿勢と健康～不調の原因は「ネコ背」だった！』及び ②『口腔ケアと全身疾患～歯ブラシ1本で予防する！』を イオンホールにて開催したほか、糖尿病性腎症患者の生活習慣を 改善する「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を委託により開 始した。</p>
<p>一般財源</p>	<p>【事業成果】</p>
<p>2,041 千円</p>	<p>医療費レセプト等の分析により、“高齢者になってからの健康状態は 30 代、40 代からの健康意識で大きく変わる”ということが判ったため実施した講座であったが、</p>
<p>1,598 千円</p>	<p>① 108 人 / ② 53 人が参加し、大変盛況であった。</p>
<p>443 千円</p>	<p>また、人工透析となるような重症化を予防し、患者の生活の質の維持と、国保の医療費適正化を図るため、「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」を実施した。市内医療機関の協力を得て、対象者 141 人に通知し、そのうち 21 人に参加いただいた。</p>
	<p>重症化予防事業については、今後も医師会と協議しながら進めていく。</p>

土地区画整理事業特別会計

<p>【番号】192【施策体系】Ⅶ 豊田南土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,118,681 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 325,010 千円</p> <p>都支出金 207,120 千円</p> <p>保留地処分金 140,932 千円</p> <p>一般会計繰入金 190,950 千円</p> <p>基金繰入金 148,800 千円</p> <p>繰越金 105,211 千円</p> <p>基金利子 658 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 3・4・15 号線築造工事 (幅員 16m 延長 84.2m) ・区画道路築造工事 2 件 (幅員 6～10m 延長 129.3m) ・駅前広場仮設道路築造工事 (幅員 14m 延長 44.6m) ・都市計画道路 3・3・2 号線雨水排水管布設工事 (管径 250～1000m 延長 112.4m) ・水路築造工事 (幅員 3m 延長 209.3m) ・整地工事 1,022 ㎡ ・建物移転 15 棟 <p>【事業成果】</p> <p>事業 5 カ年計画に基づき、駅前広場周辺の建物移転及び都市計画道路 3・4・15 号線の整備を進め、住民の利便性を向上させ地域の活性化につなげた。また、街区整備を行うことで良好な宅地の供給がなされた。</p>
<p>【番号】193【施策体系】Ⅶ 万願寺第二土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,165,332 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 50,800 千円</p> <p>都支出金 25,400 千円</p> <p>保留地処分金 782,944 千円</p> <p>一般会計繰入金 190,748 千円</p> <p>繰越金 115,440 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路 7・5・3 号線築造工事 (幅員 12m 延長 103.2m) ・区画道路築造工事 1 件 (幅員 4～6m 延長 37.1m) ・整地工事 4,532 ㎡ ・建物移転 7 棟 <p>【事業成果】</p> <p>事業 5 カ年計画に基づき、高速道路沿いの都市計画道路 7・5・3 号線関連の建物移転が進んだこと等により、地区内幹線道路のネットワーク化に向け前進し、安全な交通系統の充実に寄与した。</p> <p>また、雪印メグミルク跡地の土地利用に資するため、周辺道路の整備を行った。</p>

<p>【番号】194【施策体系】VII 東町土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 607,738 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 225,000 千円</p> <p>都支出金 112,500 千円</p> <p>保留地処分金 89,542 千円</p> <p>一般会計繰入金 172,892 千円</p> <p>繰越金 7,804 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画道路築造工事 1 件（幅員 5～6m 延長 228.6m） ・整地工事 4,365 m² ・建物移転 23 棟 <p>【事業成果】</p> <p>事業 5 ヶ年計画に基づき、生活道路である区画道路の整備及び周辺の街区整備を行い、密集市街地・狭あい道路の解消を進めることにより、良好な宅地の供給がなされた。</p>
<p>【番号】195【施策体系】VII 西平山土地区画整理事業</p> <hr/> <p>事業費； 1,389,335 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 766,880 千円</p> <p>都支出金 152,616 千円</p> <p>保留地処分金 10,272 千円</p> <p>一般会計繰入金 356,344 千円</p> <p>繰越金 103,162 千円</p> <p>基金利子 61 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画道路築造工事 4 件（幅員 4～6m 延長 375.0m） ・都市計画道路 3・3・2 号線仮設道路築造工事 （幅員 6m 延長 30.6m） ・都市計画道路 3・3・2 号線雨水排水管布設工事 （管径 400～2,200m 延長 149.2m） ・整地工事 10,188 m² ・建物移転 32 棟 <p>【事業成果】</p> <p>事業 5 ヶ年計画に基づき、生活道路である区画道路の整備及び周辺の街区整備を行うことにより、良好な宅地の供給がなされ、地域の利便性向上に寄与した。</p> <p>さらに、都市計画道路 3・3・2 号線用地確保のための建物移転、雨水排水管整備及び仮設道路築造により、市内の広域幹線整備が進捗した。</p>

下水道事業特別会計

<p>【番号】196【施策体系】V 管路更正・耐震化事業</p> <hr/> <p>事業費； 59,785 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 17,495 千円</p> <p>都支出金 874 千円</p> <p>市債 35,670 千円</p> <p>一般会計繰入金 5,746 千円</p>	<p>【事業概要】 汚水管等管路更生 内径 250 mm L=約 119m (市施工) マンホール鉄蓋交換 25 箇所 (市施工) 33 箇所 (東京都都市づくり公社施工) 総合地震対策計画(緊急目標Ⅱ)策定業務 1 式</p> <p>【事業成果】 下水道施設長寿命化事業の一環で、平成 25 年度から 29 年度の 5 ヶ年で京王平山住宅地における老朽管の管路工事を実施することとしており、その一部を完了した。 総合地震対策計画については、平成 26 年度に実施した液状化調査に基づき、重要な幹線等の耐震化計画を平成 27 年度に策定した。平成 28 年度以降に下水道耐震化事業を行っていく。</p>
<p>【番号】197【施策体系】V 雨水管整備事業</p> <hr/> <p>事業費； 295,277 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 101,005 千円</p> <p>都支出金 5,050 千円</p> <p>市債 180,240 千円</p> <p>一般会計繰入金 8,982 千円</p>	<p>【事業概要】 浸水被害対策として、時間最大 50 mm/hr に対応するように整備を行った。 豊田排水区 内径 300~700 mm L=約 419m (東京都都市づくり公社施工) 東平山排水区 内径 2,000 mm L=約 113m (市施工)</p> <p>【事業成果】 雨水事業の一環で、多摩平地区の浸水対策としての豊田幹線の整備については平成 23 年度に終了し、平成 24 年度より幹線上流部の枝線整備に着手し、平成 27 年度に事業を完了した。 東平山幹線については、旭が丘地区の浸水被害を解消し、豊田南土地区画整理事業区域の雨水流入を確保するため、平成 27 年度から事業を開始した。</p>

<p>【番号】198【施策体系】V 汚水管整備事業</p>	<p>【事業概要】 各家庭や事業者から排出される汚水を、流域下水道幹線管渠に接続するための整備を、浅川処理区の区画整理事業地域を中心に行った。</p>
<p>事業費； 266,341 千円</p>	
<p>財源内訳； 国庫支出金 74,810 千円</p>	<p>管渠埋設 内径 200～250 mm L＝約 1,724 m 整備面積 4.41ha</p>
<p>都支出金 3,740 千円</p>	<p>(東京都都市づくり公社施工)</p>
<p>市債 159,650 千円</p>	<p>【事業成果】 東京都都市づくり公社に委託し、土地区画整理事業等に併せて、日野・豊田・東平山・西平山の一部で、効率的な面整備を行った。</p>
<p>一般会計繰入金 28,141 千円</p>	<p>処理区域面積は、5.13 ha 増加して 2,232.64ha へ、人口普及率は 0.2%増加して 94.8%となった。</p>

介護保険特別会計

<p>【番号】199【施策体系】Ⅲ 地域包括支援センター 運営事業</p>	<p>【事業概要】 地域ケア会議の開催、介護と医療の連携推進、認知症早期対策、地域介護予防の促進等新たな事業展開に伴い、センターの人員体制を強化した。</p>
<p>事業費； 50,400 千円</p> <p>財源内訳； 国庫支出金 19,908 千円</p> <p>都支出金 9,954 千円</p> <p>地域支援事業費繰入金 20,538 千円</p>	<p>【事業成果】 平成 27 年 4 月より 9 か所全ての地域包括支援センターの職員を 1 名増配したことで、センター機能の強化を図り、地域ケア会議の開催、介護と医療の連携推進、認知症早期対策、地域介護予防の促進等新たな事業展開に適切に対応できる体制を整備した。</p>

市立病院事業会計

<p>【番号】200【施策体系】Ⅲ 市立病院事業経費（第2次 改革プランの推進）</p>	<p>【事業概要】 急性期・中核・300床の2次救急医療機関として、市民に選ばれる持続可能な市立病院として自立していくため、「新日野市立病院財政計画基本方針」を定め、第2次改革プラン実行計画に基づき取組みを進めた。医療体制の強化として、7対1看護基準の堅持、救急車の受入れの増（断らない救急）、病床利用率の向上事業、入院・外来診療単価のアップ、人材の確保等により医療の収益向上を図った。第2次改革プラン優先整備事業としては、更新時期を迎えた医療機器等の整備を行った。健診センター事業は、利便性の向上を図るため、インターネット予約など新しい取組を導入し、収益1億円を目指して事業に取り組んだ。患者サービス向上としては、窓口待ち時間短縮プロジェクトチームによる更なる時間短縮策の検討、高校生対象のオープンホスピタル、院内コンサート、診療科の接遇診断等に取り組んだ。病院の広報活動としては、広報紙「ゆりの木」を年4回発行したほか、病院ホームページの更新を行った。新たな取組みとして Facebook による病院情報発信を開始した。更に総務省の新公立病院改革ガイドラインに基づき第2次改革プランの改定に着手した。</p> <p>【事業成果】 平成27年度病院事業会計決算は、入院及び外来とも診療単価が増加し、医業収益も前年度比で大幅に増加した。主な要因として病床利用率の向上、収益向上対策、救急受入件数及び紹介率の増加等が挙げられる。 一方で消費税や給与改定など院内努力では対応困難な外部要因の補てんとして一般会計からの負担金が2億円増額された結果、純損失額は226,023千円（前年度566,631千円）となり、前年度に比べて大幅に改善した。 現金支出を伴わない減価償却費・地方公営企業会計制度の改正・見直し経費等を除いた現金ベースによる病院事業総収支では、194,929千円の黒字となった。 平成27年度の主な成果としては、病床利用率が昨年度より2.8ポイント改善し改革プラン取組以来初の82.1%、紹介率は1.0ポイント伸びて45.3%、逆紹介率も3.7ポイント伸びて21.8%といずれも昨年度から上昇した。</p> <p style="text-align: right;">（次頁へ続く）</p>
<p>事業費； 1,070,000千円 財源内訳； 一般会計負担金・補助金 1,070,000千円</p>	

<p>【番号】200 市立病院事業経費</p>	<p>【事業成果】(続き)</p> <p>救急車の積極的な受入れに取り組み、受入件数は前年度より 655 件 (24.1%) 増加し 3,368 件 (前年度 2,713 件) であった。</p> <p>医療機器については新病院建替えから 14 年が経過し、耐用年数を超過した内視鏡スコープをはじめ老朽化した医療機器等の計画的な更新として 42 点、約 1 億 680 万円を購入し、施設・設備では老朽化対応修繕として 5 か年の修繕計画を作成し計画的な施設整備修繕により環境改善を図ることができた。</p> <p>3 年前から取り組んできた健診センター収益 1 億円事業が初めて 1 億 200 万円となり、目標とした収益 1 億円を達成することができた。</p>
<p>【番号】201【施策体系】Ⅲ 救急受入環境充実事業</p> <p>事業費； 30,758 千円</p> <p>財源内訳； 病院財源 30,758 千円</p>	<p>【事業概要】</p> <p>急性期・300 床・2 次救急医療機関の維持継続を目的として第 2 次改革プランに基づき救急受入環境の整備、患者待合スペースの充実を図り、業務効率向上を図るため救急室改修に取り組んだ。</p> <p>【事業成果】</p> <p>救急の受入環境充実事業として救急室内の自動ドアや間仕切壁を撤去し、救急室内を医師・看護師等が効率的かつ機動的に運用できるレイアウトに変更し患者サービスの充実を図った。</p> <p>また、患者待合スペースの充実を図り、救急室へのスムーズな入室及び救急車との動線を明確に区分できるよう改善を図った。</p> <p>救急室改修等により救急車による搬送患者の受入件数は前年度より 655 件 (24.1%) 増加し、3,368 件 (前年度 2,713 件) と大幅に増加した。</p> <p>救急室改修の主な内容は、以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 診察室を 2 室から 3 室に増室 ② 待合スペースの確保 ③ 重症処置室の自動ドア撤去 ④ 救急室内のカーテンレールによる間仕切 ⑤ 前室兼洗浄室の整備

<p>【番号】202【施策体系】Ⅲ 人材確保事業</p>	<p>【事業概要】</p> <p>「市民に信頼され、選ばれる」急性期・中核・300床の2次救急医療機関として、維持と継続に向け全力で取り組んでいく中で、病院経営の要は人材であり、市立病院が良質な医療を提供し持続していくためには、人材の確保や育成への取組みは非常に重要である。</p> <p>このことから、「日野市立病院人材確保及び育成基本方針」を定め、慶應義塾大学関連病院の一員として同大学医学部と連携するとともに、看護師、医療技術職や事務職員、臨時職員に至るまで優秀な人材を確保し、育成する。</p> <p>①人材確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新卒・既卒、部門の年齢構成等、組織のバランスを考えた計画的な確保 ・慶應義塾大学関連病院の一員として同大学医学部の支援による充実及び杏林大学をはじめとした近隣大学との若手医師を中心とした連携による組織の活性化 ・医療スタッフ及び医療事務専門職（医事請求業務、各種届出業務、多職種間コーディネーター技術者等）の確保 ・病院固有の職員の採用（退職までの病院関係事務従事によるスペシャリスト化） ・臨時職員の勤務状況に応じた客観的な評価に基づく待遇面の制度化による確保 <p>②人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門別による人材育成基本計画とプログラムの作成と組織的な人材育成 ・人材育成計画に基づく適正な評価の導入及びさらなる能力開発や処遇へ反映させられる制度の確立 <p>【事業成果】</p> <p>「日野市立病院人材確保及び育成基本方針」に基づき、計画的な人員確保及び人材育成を実施した。</p> <p>①人材確保</p> <p>（医師）26年度 49名 → 27年度 50名 （看護師）26年度 199名 → 27年度 212名 （医療技術職）26年度 51名 → 27年度 52名</p> <p>②人材育成（人材育成及び人事評価の実施）</p> <p>（医師）正規職 48名、臨時職 9名 （看護師）正規職員 189名、臨時職 35名 （医療技術職）正規職員 55名、臨時職 22名 （事務職）正規職員（病院採用職員） 5名、臨時職 52名</p>
----------------------------------	---

<p>【番号】203【施策体系】Ⅲ 生活習慣病等の予防講座 の実施</p>	<p>【事業概要】 生活習慣病を予防し市民の健康に寄与することを目的として、市民の会、患者の会等による予防啓発講座、がん教育の一環として小学校出前授業などに取り組んだ。</p> <p>【事業成果】 生活習慣病等の予防講座など予防啓発事業としては市民の会、患者の会等による講演会・勉強会、小中学校の児童・生徒を対象とした「がんについての出前授業」等を実施した。</p> <p>(日野市立病院を応援する市民の会によるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『物忘れ』これって病気?」 約 130 名 ・「認知症の方を支えるケア」 約 40 名 <p>(患者の会「未病の会」によるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 8 回勉強会「腰痛について」 61 名 ・第 9 回勉強会「あなたもできるがん予防！」 59 名 <p>(患者の会がん患者「青葉の会」によるもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「がんの手術及び化学療法を中心とした治療」 「がん患者の口腔ケアがもたらす効果」 約 120 名 ・がんカフェ 全 9 回 278 名 参加 <p>(がん教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんについての出前授業 仲田小学校、第三中学校 ・がん教育についての講演 保健主任研修会
---	--